

川西地域農業広域協定ニュース



川西地域農業広域協定とは

川西地域農業広域協定は、令和4年3月30日、相楽郡川西土地改良区のエリア内において僧坊、舟、里、谷、中、南、植田、菅井の8つの集落と相楽郡川西土地改良区で設立、令和4年4月15日、事業計画(農地維持活動・資源向上活動)について、精華町の認定を受け広域活動組織による「多面的機能支払交付金事業※」の活動を開始しました。国(農林水産省)・京都府・精華町から交付金を受けて活動しています。地域資源と環境の保全を図るため、地域の皆さんのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

運営委員会会長 中川俊幸

※「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」(平成26年6月20日法律第78号)に基づき農地・水路・農道などを共同活動で保管理している活動組織に交付金を交付する制度

【広域活動組織の概要】

- 対象農用地面積 118.91ha (田 118.52ha 畑 0.39ha) ※対象農用地は農振農用地(青地)
- 対象施設 水路24.7km、農道9.6km、ため池4か所
- 全体事業費予算※当年度交付金ベース 約 9,396千円(R6)国1/2府1/4町1/4 農地維持支払、資源向上支払(共同、長寿命化)
- 活動期間(5年間)令和4年度から令和8年度 ※更新予定

令和 5年度 活動の概要

令和5年度活動参加の延べ人数は708人でした。ご参加・ご協力ありがとうございました。

(1) 農地維持支払交付金…いつもの活動

これまでから関係者で行われている草刈りや水路掃除などの集落の活動が交付金の対象です。機械の安全研修や地域農業の将来への話し合いも対象になります。



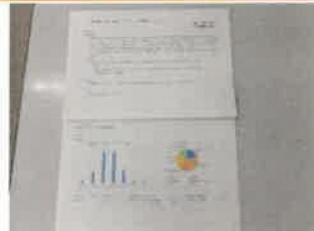
水路の草刈り泥上げ(全集落)



農道の草刈り(全集落)



ため池の草刈り(谷・植田)



「農作業しやすい環境づくり」アンケート調査の実施(全集落)

アンケート結果はこちらのホームページをご覧ください
<https://www.kairyoku.com>

(2) 資源向上支払交付金(共同)

①水路・農道などの破損箇所の軽微な補修②地域の創意工夫に基づく環境保全活動などの共同活動が交付金の対象になります。毎年、水路沿い等への植栽活動、水質モニタリングなど環境保全活動を1項目以上、計画・実施する必要があります。



水質モニタリング(広域)



子ども会との水質モニタリング(植田)



花植え(植田)



広報活動 子ども会と合同さつまいも掘り(谷)



花植え(広域)



水路補修工事(南)一目地・マス補修



農道補修工事(谷)一鋤取り



蓮池堤体防草シート張工事(植田)

(3)資源向上(長寿命化)

老朽化が進む農地周りの水路・農道などの施設の補修や更新などの活動を支援します。必要性・緊急性に応じて地域で優先順位を決め、工事を行うことができます。原則として工事1件当たりの費用は200万未満(町道など除く)。



農道更新工事(中)未舗装農道のコンクリート舗装



水路ゲート(堰)補修工事(植田)



農道アスファルト補修工事(菅井)



一ツ橋樋門修繕工事(僧坊・舟・里)一子ゲート付替え

令和6年度の活動開始！



2024(令和6)年4月24日

川西地域農業広域協定運営委員会が開催され、役員選出、令和5年度活動報告と決算報告、令和6年度活動計画と予算(案)について慎重に審議され可決しました。限られた予算の中で、計画をたてて事業を進めます。令和6年度も農道や水路の補修、子ども会と合同の水質モニタリングや芋ほり体験などの活動を継続します。

◇川西地域農業広域協定運営委員名簿◇

令和6年4月～令和8年3月(敬称略)

役員	団体名	氏名
会長	相楽郡川西土地改良区	中川 俊幸
副会長	中区実行組合	中村 嘉輝
副会長	南区実行組合	西島 芳明
会計	相楽郡川西土地改良区	寺嶋 喜信
幹事	僧坊実行組合	安宅 康郎
幹事	谷区実行組合	井澤 茂治
幹事	植田地区農地・水・環境保全会	森西 光洋
監査役	里実行組合	稲住 真政
監査役	菅井農事組合	大賀 宜亨
運営委員	僧坊実行組合	藤田 佳宏
運営委員	舟実行組合	田中 吉照
運営委員	里実行組合	福味 英巳
運営委員	谷区実行組合	山田 廣明
運営委員	中区実行組合	岡西 純次
運営委員	南区実行組合	中川 茂成
運営委員	植田地区農地・水・環境保全会	松井 和正
運営委員	菅井農事組合	大賀 昭男

2年間よろしくお願いします♪

令和4年度から5年間、引き続き川西地域農業広域協定のエリア内の農村環境の保全に取り組んでいきます。農地・農道・水路などの環境改善へのお気づきの点やご意見などを地域の運営委員や広域協定事務局までお寄せください。

発行:川西地域農業広域協定運営委員会事務局
相楽郡川西土地改良区内
TEL 0774-94-3006

農作業をしやすい環境づくりアンケート調査結果について

2024（令和6）年2月
川西地域農業広域協定

I. 調査概要

1. 調査目的

全国的にそして相楽郡川西土地改良区の地区内において、農業者の高齢化や担い手の減少など営農の継続が困難となる現状があります。そこで、地域で守っている水路・農道・ため池などの農業関連施設を、5年後、10年後にわたって引き継ぎ、ひいては将来的な農業の維持・充実を図っていくため、僧坊・舟・里・谷・中・南・植田・菅井の8つの集落と相楽郡川西土地改良区は、多面的機能支払交付金事業の広域活動組織「川西地域農業広域協定」を設立し令和4年度から5年間の予定で活動しています。この多面的機能支払交付金事業を活用し農作業をしやすい環境を整えるため、みなさんの農業の状況や意向についてアンケート調査を実施しました。

2. 調査対象

8集落の活動組織の構成員（ただし植田区については農事組員）のいる世帯で主として農作業を担われている方

対象件数 316件

僧坊実行組合49件、舟実行組合17件、里実行組合48件、谷区実行組合39件、中区実行組合35件、南区実行組合35件
植田農事組合61件、菅井農事組合 32件

3. 調査方法

運営委員（15人）を通じて、各実行組合等の構成員に調査票を配布及び返信用封筒により配布回収を行いました。

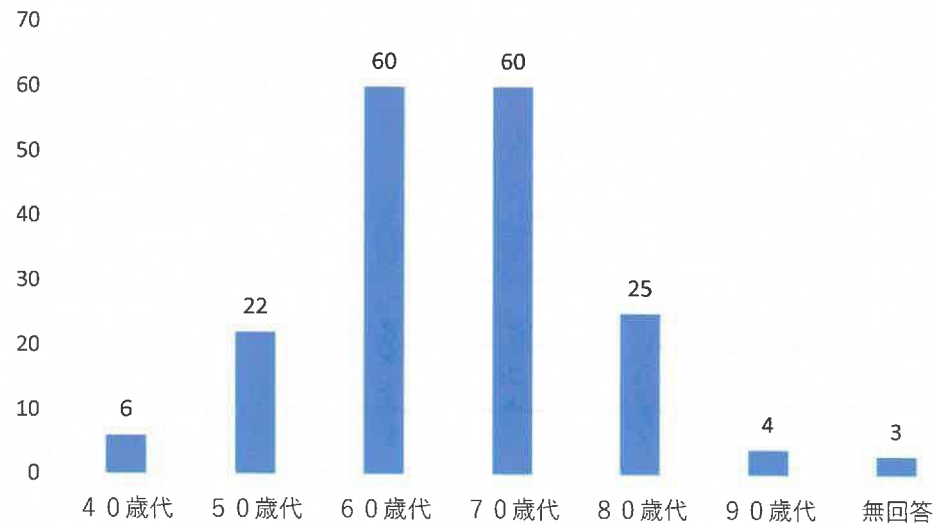
4. 調査期間

令和5年9月から11月20日まで

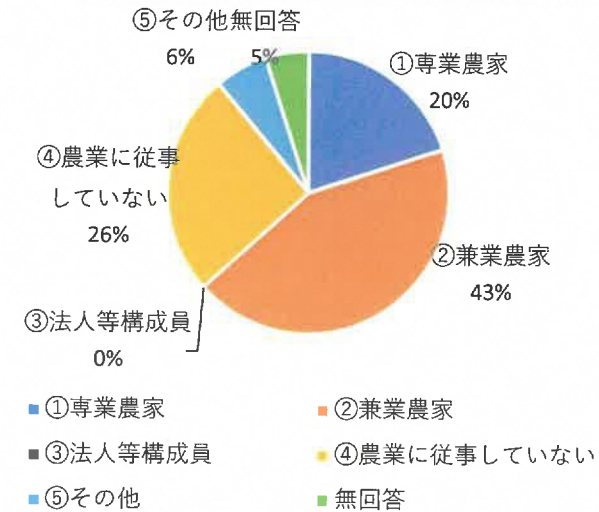
II. 回収結果

◎調査対象件数（広域活動組織構成員）	316
◎回収数	180
◎回収率（パーセント）	57.0
◎回答者について	

1. 農業経営主（世帯主、主耕作者）の年代



2. 経営形態



○地区内159人、地区外3人、無回答18人

○平均年齢 69.5 才

○農業従事者（平均）家族

1.6 人

○耕作面積（平均） 所有農地
他人農地

4.3 反

3.1 反

家族以外の雇用者

1.9 人

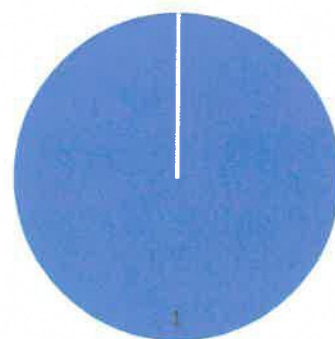
（内他人への貸農地

3.1 反）

Ⅲ. 主な集計結果

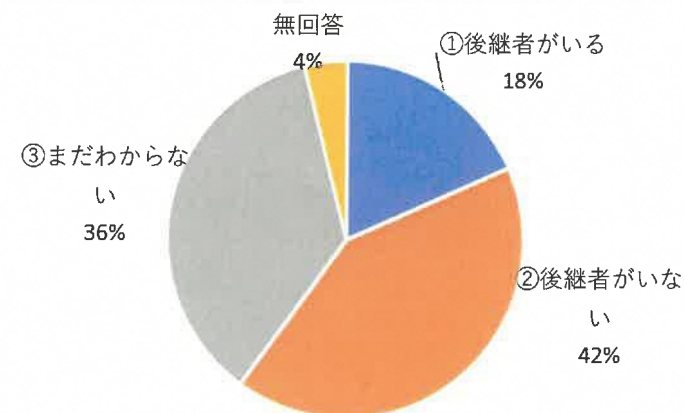
1. あなたの家の農業について

(1) 10年後の経営状況



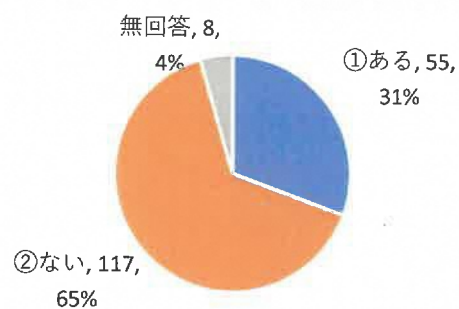
■ ① 10年以上

(2) 後継者



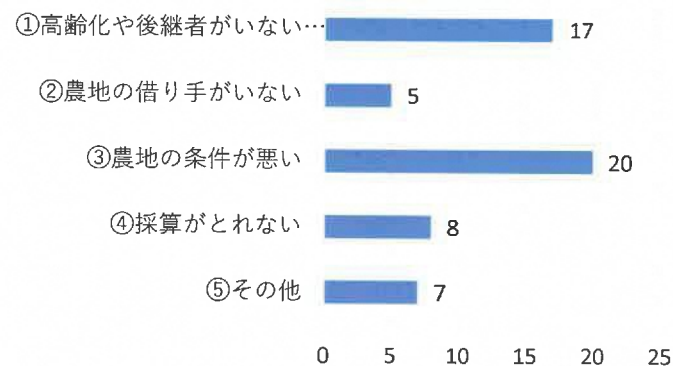
■ ① 後継者がいる ■ ② 後継者がいない ■ ③ まだわからない ■ 無回答

(3) 休耕農地

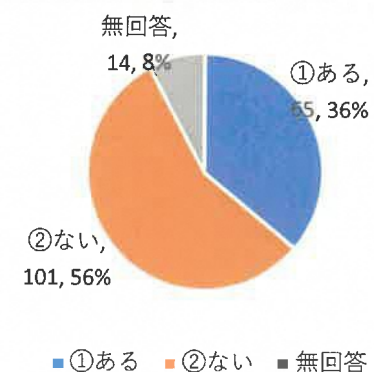


■ ① ある ■ ② ない ■ 無回答

(3) - 1 休耕理由

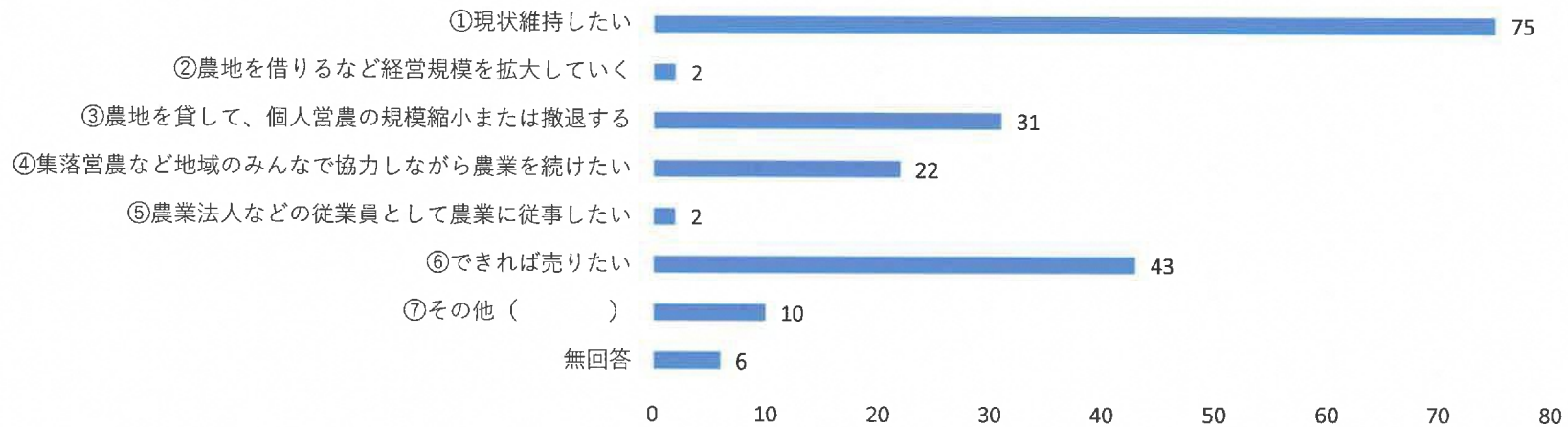


(4) 農地の貸出希望

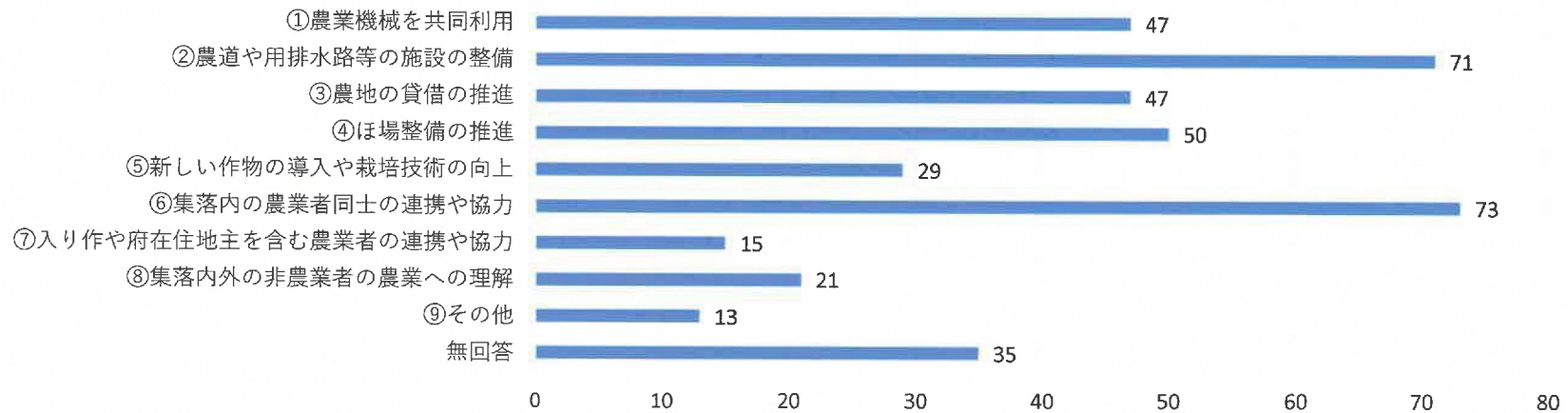


■ ① ある ■ ② ない ■ 無回答

(3) 今後の経営規模

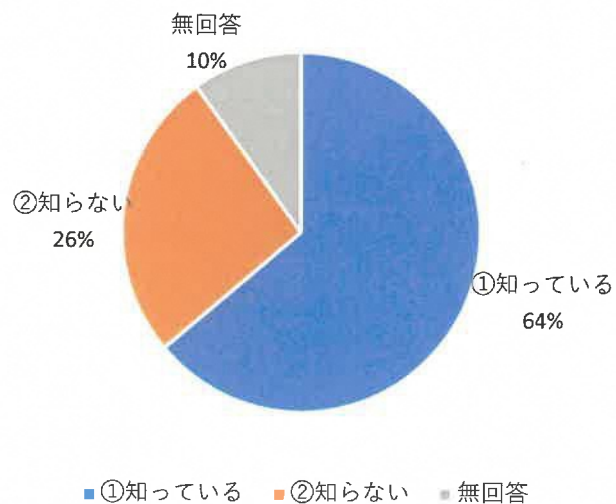


(4) 農業維持・発展の方策

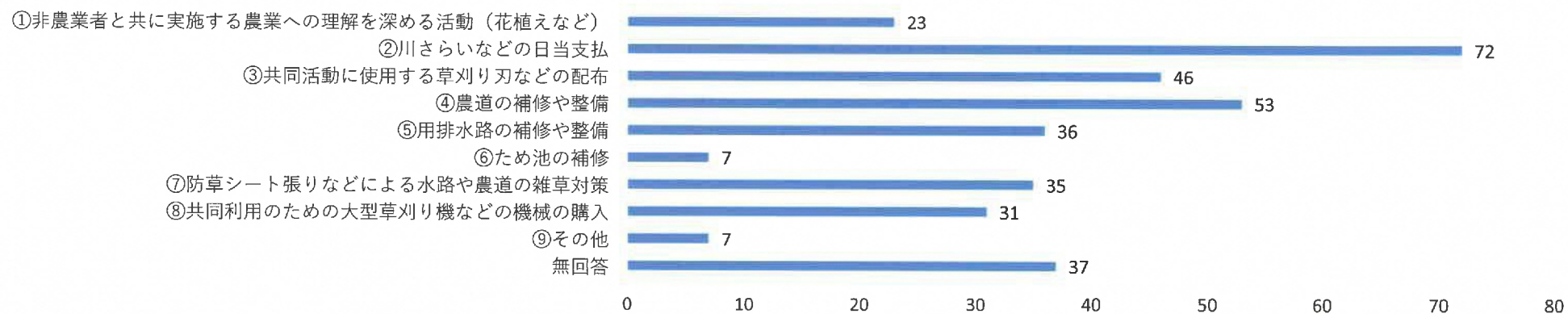


2. 農作業しやすい環境づくり（多面的機能支払交付金事業）について

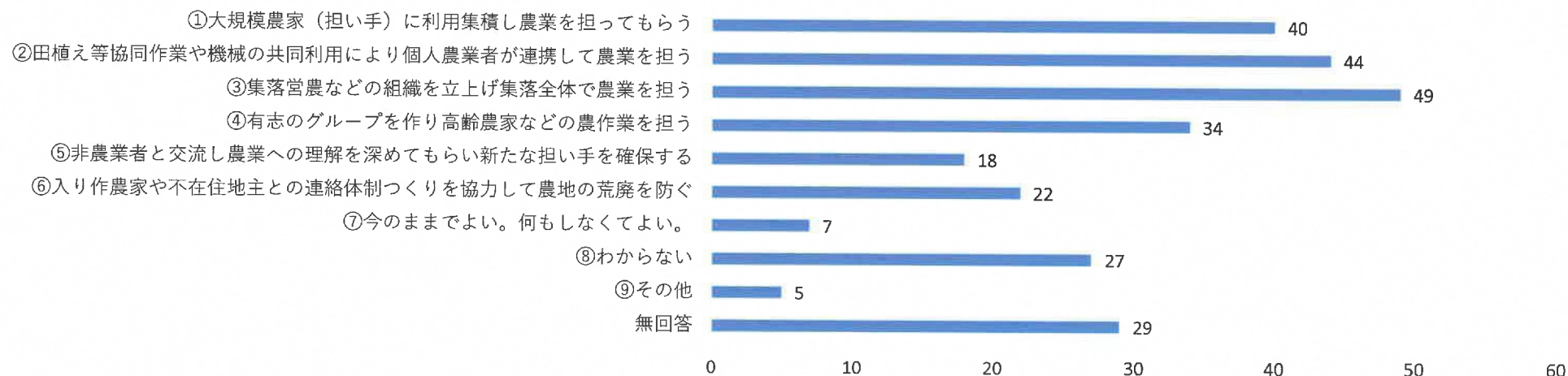
（1）多面的機能支払交付金事業の周知



（2）多面的機能支払交付金を活用した取組希望（3つ）



（３）持続可能な地域農業のために、集落として進む方向



（４）自由意見

- ・川さらいや草刈り（水路）公の場所が負担が大きい。もっと助け合えたらありがたい。
- ・農道の補修が町道や白地が対象外なので今後考えてほしい。
- ・舟地区の農業者の将来的な方向性は農業の拡大方向では多く望めないと思います。
- ・高齢化や後継者不在などこれからますます耕作不能地が加速度的に増えるかもしれない
- ・2,3年後には病気やそれ以外の要件でこのアンケートの考え方が変わっているかもしれない。
- ・多面的事業の継続要請、アンケート結果反映、行政への働きかけ
- ・農業は大切だと思うが、後継者問題など将来のことを考えないといけないので今より簡単に売りたいです。農地法などしがらみが多く単純でない。持ち主が売りたいなら自由にしてほしい。
- ・後継予定者が繁忙期にも手伝ってくれない状況。後継者としての育成は難しい。現状を維持して、後継予定者の定年後に期待しそれまで頑張れるか不安
- ・自分の田の周辺（農道）を年5, 6回草刈りしているが（草刈刃）年齢にともなってしんどくなっているのを芝刈り用機械を購入してほしい
- ・農用地と限定した舗装でなく調整区域の農道のコンクリート舗装化を

- ・今回のアンケートを直接関係ないが、祝園地域の用水と排水路を区別し、稲作だけでなく野菜作りできる環境整備をしてほしい。
- ・中区の農道は他区農道と比べて大変悪い
- ・できれば地区の田を荒らしたくない。しかし私に耕作しなさいとなっても全てしんどいです。とても良い条件があればしたいと少しは思う
- ・耕作放棄にならないように地域の方々に耕作して頂き大変感謝している。高齢化が進む中でこれから農地をどの様に維持していけばいいのか。
- ・高齢化対策・不採算対策をすでに実戦している。組織・団体と交流を図り具体的な情報を収集する時期に来ていると思われる。
- ・小規模農家でも黒字の出せる運営を進めなくてはならない。連携して経費を抑える。
- ・自身の高齢化と後継者がいないためきたら他人に手離したい。
- ・川佐・寺東一帯のは場整備が必要
- ・改良区から何ら恩恵を受けていない（過去・未来）田畑は改良区メンバーからはずしてほしい。水路もないし水も使っていない。
- ・雑草も燃やせない状況の中で農業はできない
- ・まずは実行すること
- ・農道の両側の草刈をしない人がいる、指導してほしい